



Vol. 197

2025. 9-10

今号の内容

- 01 徳島県板野町林野火災に伴う災害派遣活動
- 02 愛媛県総合防災訓練
- 03 四国地区殉職隊員追悼式
- 04 各部隊投稿
- 05 隊員家族投稿 (第15即応機動連隊)
- 06 キーパーソン (第50普通科連隊)



【初動連絡員の出發】



【自治体との調整】



【空中消火活動の様子】

徳島県板野町林野火災に伴う 災害派遣活動

令和7年8月27日、徳島県板野町において発生した林野火災に対し、第14旅団（旅団長 仲西勝典 陸将補）は、速やかに板野町役場等に連絡員を派遣し、消防や自治体と緊密に連携し、消火活動の態勢を確立しました。

28日から9月4日鎮圧が確認できるまでの間、第14飛行隊のUH-1Jのほか、大型輸送ヘリCH-47JAの増援を受けながら、空中からの消火活動を継続しました。厳しい暑さが続く環境の中、一丸となって任務に取り組みました。



活動間、SNS等を通じて多くの方々から温かい応援を受け、地上から上空へのメッセージも届きました。今後も引き続き、地域と連携し、迅速かつ的確な災害派遣に努めてまいります。



【仲西旅団長による現地指導】



【後藤田知事及び板野町長からの激励】



【地上から上空へ届いたメッセージ】



訓練は実任務の備え **愛媛県**
総合防災訓練

第14高射特科隊（隊長 岩月賢二 2等陸佐）は、愛媛県宇和島港ふ頭で実施された『愛媛県総合防災訓練』に参加しました。
防災訓練では、自衛隊だけでなく警察、消防、県、市町などによる連携に重点を置いた被災者の救出救護訓練や協同訓練等、実践的な訓練を行い、防災体制の一層の充実強化、応急対策の機能向上を図りました。
第14旅団は、各種災害を想定し、万全の準備を整え日々の訓練を重ねています。



【献花をする仲西旅団長】

**殉職隊員
追悼式**

～忘れ得ぬ誇り～



【拝礼】

第14旅団（旅団長 仲西勝典 陸将補）は、10月11日、善通寺駐屯地において「令和7年度四国地区殉職隊員追悼式」を実施しました。

今年度は、新たに御霊を一奉納し、国の存立を担う崇高な職務に殉ぜられた52柱の御霊に対し、拝礼や黙祷を捧げ、厳粛かつ、しめやかに行われました。

仲西旅団長は、「我々は、職務の遂行に全身全霊を捧げられた御霊の高い志を受け継ぎ、『事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民、そして地域の皆様の負託に応えられる』よう、全力を尽くすことを堅くお誓いします。」と追悼の辞を述べました。

志半ばに殉職された隊員が安らかであること、そして御遺族の皆様が突然の悲しみや苦難を乗り越えられて、心穏やかな日々をお過ごしになられることを願い、第14音楽隊が「瞳をとじて」を追悼演奏し、拝礼に続く儀じょう隊による弔銃が厳かに鳴り響き、殉職隊員52柱のご冥福をお祈りしました。



【第14音楽隊による追悼演奏】



【弔銃】

すべては実任務として行動せよ 第3次旅団演習

第14旅団司令部付隊（隊長 玉置徳和 3等陸佐）は、第3次旅団演習に向けた出動準備訓練を集中的に実施しました。

今回実施した出動準備訓練では、旅団長の方針である「すべては実任務として行動せよ」を合言葉に、演習全般の状況や安全管理の認識統一、作戦行動に必要な武器操作訓練、負傷者発生時の救護要領、各種行動における法的根拠を認識する法令教育の他、新たな取り組みとして水泳練成訓練を実施しました。

積み上げた訓練成果を発揮するため、任務達成に必要な能力を着実に向上させています。また、平素から旅団司令部を支える多様かつ重要な任務を担う、司令部付隊の隊員として、14旅団の円滑な活動に寄与しています。



【武器操作訓練（WSOP）】



【水泳練成訓練】

第14情報隊（隊長 濱田安彦 2等陸佐）は、第3次旅団演習に参加しました。本訓練では、無人機による昼間・夜間の飛行を通じて、目標の搜索・標定、画像データの処理など情報収集能力の向上を目的として実施しました。

隊員個人の技量向上はもちろん、部隊全体の即応能力の強化に繋がる訓練となりました。今回の成果をもとに、さらなる無人機運用能力・情報収集能力の強化に取り組めます。



【無人偵察機発射準備完了！】



【画像データ処理の様子】



この無人機は、着陸地を必要とせず、地上の支柱に垂らしたラインに機体のフックが掛かる“ライン回収（スカイフック）”と呼ばれる方式で回収しています。

空中で制止した状態になってから隊員が回収を行うので、安全に作業が行えます。

←左写真【無人機が回収された瞬間】

第14後方支援隊（隊長 渡邊修 1等陸佐）は、第3次旅団演習に参加し、実戦さながらの緊張感の中で各種任務に取り組みました。本訓練では、第14飛行隊と協同し、ヘリコプターを用いた患者後送訓練を実施しました。負傷者を迅速かつ安全に後送する手順を確認し、隊員一人ひとりの練度向上と部隊間の連携強化を図りました。



【傷病者の搬送】



【傷病者を救急車から降ろす様子】

第14偵察隊（隊長 神品秀雄 2等陸佐）は、第3次旅団演習に参加しました。

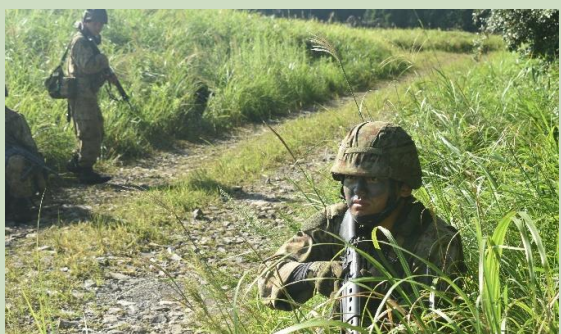
本演習の参加にあたり、全隊員が出発前の準備から帰隊後の整備までの全てを実任務と捉え、訓練に臨みました。使用する資器材の準備はもちろんのこと、法令に関する知識を深め、部隊として安全かつ整齊とした行動を行いました。



【法令教育】



【部隊移動】



【警戒】



【陣地構築】



【偵察地域へ前進するLAV(写真左)とRCV(写真右)】

演習場では、これまで練成した成果を発揮して、任務に邁進しました。

今回の訓練で得た教訓・成果は、今後の訓練に反映し、より強靱な部隊となるように引き続き演練していきます。

一発必中！ 対空実射訓練（93式近距離地对空誘導弾）

第14高射特科隊（隊長 岩月賢二 2等陸佐）は、北海道にある静内対空射撃場において対空実射訓練（93式近距離地对空誘導弾）を実施しました。本訓練は、93式近距離地对空誘導弾（近SAM）を発射するための陣地占領から、射撃目標への対空実射に至る一連の基本的行動及び隊員の基礎動作を演練する、年に1度の貴重な訓練です。

訓練に参加した隊員たちは、年度当初から段階的かつ計画的に練成して実射訓練に臨み、要撃成功の成果を収めました。



【近SAMの射撃準備】



【誘導弾の発射】

初参加となった隊員は「訓練当初は、目標を見つけることが出来ませんでした。訓練を重ねるとコツを掴み、見つけられるようになりました。その訓練成果が要撃成功という成果に繋がり捜索手として任務達成する事が出来て凄く嬉しかったです。」と語りました。

水上のチームワーク 渡河訓練

第15即応機動連隊（連隊長 柿内慎治 1等陸佐）は、8月、吉野川（徳島県）において渡河訓練を行いました。

訓練では偵察ボートや救助ボートなどに乗り、漕舟（オールで舟を漕ぐこと）及び舷外機（取り外し式のエンジン）を使用した操縦訓練を行いました。

また、各種ボートを利用した人命救助訓練を実施して災害対処能力も向上させました。今後も災害に備えた訓練を継続していきます。



【渡河ボートを河で組み立て】



【渡河ボートで競争中】

この訓練には「お仕事見学」として高校生9人も参加し、隊員からロープワークを学んだ後、渡河ボートに乗り込み、息を合わせてオールを漕いで、吉野川で隊員とともに汗を流しました。



【ロープワークを教えている本部管理中隊長】



【隊員と一緒にボートを漕ぐ高校生たち】

第50普通科連隊（隊長 水関謙作 1等陸佐）は、新隊員後期教育を実施し、心身ともに大きく成長した新隊員たちは、晴れて9月16日に、新隊員特技課程を修了しました。隊員は各中隊へ配属され、それぞれの中隊で訓練等に邁進していきます。



【修了証書授与】

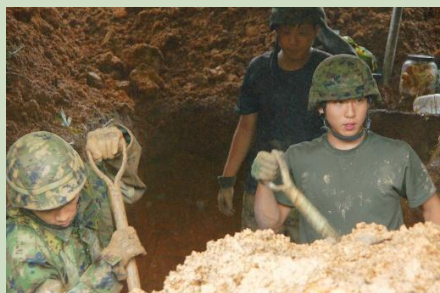


【特技課程を修了した新隊員】



【部隊に配属された隊員】

第3次連隊野営において、戦い方の深化に繋がる各種訓練を実施しました。実戦を想定した陣地構築、火力運用、警戒行動などを重点的に行い、個々の技量向上と部隊運用能力の強化を図りました。



【掩体構築】



【120mm迫撃砲の設置準備】



【警戒】

高知中央高校において装備品展示を行いました。学生たちは普段見ることのない装備に興味津々の様子で、自衛隊の役割や任務への理解・関心も深めてもらう機会となりました。今後も、地域との繋がりを大切にしながら、広報活動に取り組んでまいります。



【偵察オートバイの展示】



【広報官と記念撮影】



【高機動車の前で記念撮影】

見えない脅威に備える

第14特殊武器防護隊（隊長 松田秀司 3等陸佐）は、善通寺駐屯地において化学特技者集合訓練を実施しました。各部隊から参加した隊員に対して充実した化学教育を行い、14旅団の特殊武器に対する防護能力の向上を図りました。



【除染所開設】



【隊長から各部隊の隊員に激励】

繋げ！・ー（トンツー）通信！

第14通信隊（隊長 脇田祐一郎 2等陸佐）は、新隊員前期教育を修了した8名に対し、システム通信科として必要な基本的知識・技能を習得させるため、約4か月間、新隊員後期教育（暗号電信課程）を実施しました。

教育では、システム通信に関する全般的な概要を学ぶ座学に加え、モルス信号を用いた手動電信や数字を文字に変換・復号する作業を日々繰り返し練成しました。新隊員たちは、部隊の新戦力となり、システム通信の『最後の砦』となる通信を継続させるため、これらの専門的な技術を身に付け、システム通信科隊員としての第一歩を踏み出しました！



【信務所の開設】



【有線構成】



【信務作業の様子】



精強な施設科隊員を目指して

第14施設隊（隊長 山北幸太郎 2等陸佐）は、新隊員後期教育（施設）を約3か月間、実施しました。

基礎訓練では、自衛隊が保有している渡河ポートを操縦するために必要な漕舟技術（オールで舟を漕ぐこと）、大槌を使った丸太杭の打入要領、重いものを安全に運ぶための重材料の取り扱い要領など学び、施設科隊員として必要な知識・技術を身に付けました。また、厳しい炎天下での体力検定を乗り越え、自衛官として必要な体力や気力も一層鍛えることができました。

新隊員後期「施設」教育を終了した施設科隊員の卯たちは、それぞれの部隊に配置され、実任務を遂行できる施設科隊員になれるよう、日々精進しています！



【漕舟】



【植杭作業】



【重材料の運搬】



【体力検定3km走】

初演奏 in 宇和文化会館

第14音楽隊（隊長 平林誠 1等陸尉）は、10月5日、宇和文化会館（愛媛県西予市）において、第14旅団の巡回演奏として「第14音楽隊コンサートin 西予」が開催され、地域の秋のイベントを彩る演奏を披露しました。

第1部では吹奏楽の響きを存分に楽しめるプログラムとして、行進曲「キング・コットン」や「陽はまた昇る」に続き、加藤大智陸士長によるクラリネットソロ「インマー・クライナー」そして幅広い世代に親しまれる「ジブリ・メドレー」を演奏し、会場は豊かなアンサンブルの音色に包まれました。

第2部はポップスを中心とした演目で構成され、「情熱大陸」や隊長のアレンジによる「賜物」、角田孝明2等陸曹のトランペットソロ「サンチェスの子供たち」、さらに「J-BEST Mrs.Green Appleメドレー」や大洲市に縁がある松本零士さんのアニメ作品の楽曲をメドレーにした「ジャパニーズ・グラフィティⅫ」など、バラエティに富んだ選曲で会場を盛り上げ、アンコールには吹奏楽の人気曲「宝島」を力強く披露しました。



来場者はファミリー層が中心で、お年寄りから小さな子どもまで幅広い世代が終始温かい雰囲気の中で演奏に耳を傾け、演奏の最後には地元の子供たちがステージに上がって隊員へ花束を贈呈する場面もあり、会場は和やかな感動に包まれました。

当日は会場周辺で自治体主催のイベント「あけはマルシェ」も大々的に行われており、イベント全体の成功に花を添えました。

地域と共に歩む 北徳島分屯地設立16周年記念行事

第14飛行隊（隊長 斎藤翔平 2等陸佐）は、10月3日及び4日、北徳島分屯地において、海上自衛隊徳島航空基地開隊67周年及び北徳島分屯地設立16周年の記念式典及び記念行事を実施しました。

記念式典では多くの祝辞をいただき、隊員の士気高揚につながりました。

また、記念行事ではUH-1Jと第14偵察隊の偵察オートバイとの協同訓練展示、WAPC（第15即応機動連隊）の体験試乗、装備品展示を行いました。

来場者の方々に自衛隊について知ってもらえるよう隊員一丸となって取り組み、記念式典・記念行事は盛況のうちに終了しました。



【記念式典の様子】



【UH-1Jと第14偵察隊が共同した訓練展示】



【WAPC体験搭乗】
（第15即応機動連隊）



【UH-1Jの展示】

家庭では見せない表情を見せる関2曹が捕らえるものとは…

第15即応機動連隊 2等陸曹 関宏晃



わたしのおとうさん

わたしのお父さんは、陸上自衛隊官です。

お父さんはとてもやさしくて、毎朝わたしたち家族のためにご飯を作ってくれます。お父さんの作るご飯を食べると、元気が出て学校もがんばれます。

家族みんなお父さんのことが大好きです。とくにディズニーリゾートに行くときは、いっしょにわらって楽しい時間をすごせるので、わたしの一番の思い出です。今年もまた家族で行けるのがとても楽しみです。

お父さん、いつもお仕事がんばってくれてありがとう。家のこともしてくれてありがとう。お父さんがいてくれるから、わたしたちは毎日あんしんして過ごせます。これからも体に気をつけてね。

長女 あかりちゃんより



KEYPERSON

14th Brigade

高知駐屯地第50普通科連隊重迫撃砲中隊に所属する西尾士長にスポットを当てていきます。

『はちきん』が似合う武道



部隊 ▶ 第50普通科連隊重迫撃砲中隊

氏名 ▶ 西尾 彩子
 趣味 ▶ アニメを見ること
 好きな食べ物 ▶ クレープ



西尾士長に聞きました どんな仕事してるの？

私は、第一線部隊に対し、重迫撃砲をもって継続的な火力支援を実施することを任務とする重迫撃砲中隊で勤務、重迫撃砲を使用した訓練を日々実施しています。その他に、20式小銃の実弾射撃、格闘訓練、体力練成等を通じ、戦闘員としての能力向上に日々励んでいます。

また、幼少期から大学を卒業するまで剣道が続けており、現在では、剣道基幹要員集合訓練に参加しています。部隊長をはじめ、先輩、上司の理解もあり、自分の長年の夢であった「全日本女子剣道選手権大会」に高知代表として出場する事が決まりました。

周りの方に聞きました 西尾士長はどんな人？

「活発な女性」を意味する高知の方言「はちきん」がとても似合う隊員です。少し羽目はずしてしまう時はありますが、訓練、剣道、私生活等全力で取り組んでいます。

自衛隊生活2年目でやっとかわいい後輩隊員ができ、先輩として後輩隊員の教育に奮闘中です。また、『先輩はちきん女性自衛官』として更なる女性自衛官が活躍・発言しやすい環境作りに奮闘してくれることを期待しています。

重迫撃砲中隊 中間曹長



四国4県 イベントスケジュール



第14旅団は、装備品展示や音楽演奏などで
様々なイベントに参加しています！
皆様のご来場お待ちしております♪

徳島県：青
香川県：緑
愛媛県：オレンジ
高知県：赤

日付	イベント名	場所	
11/1(土)	高松大学・高松短期大学学園祭	高松短期大学	音楽演奏
11/1(土)	まなびの丘フェスティバル	県立総合 教育センター	車両展示
11/2(日)	大洲まつり	肱川緑池公園	車両展示
11/3(月)	徳島駐屯地開設13周年記念行事	徳島駐屯地	
11/8(土) 11/9(日)	四国大学「芳藍祭」	四国大学	車両展示
11/9(日)	四万十町合併20周年	窪川四万十会館	音楽演奏
11/16(日)	阿波市防災フェスタ	アエルワホール	音楽演奏 車両展示
11/16(日)	あなんまちマルシェ2025	阿南ひまわり会館	車両展示
11/23(日)	十河戦国お城まつり	南部J A	車両展示 太鼓演奏
11/24(月)	第43回ふれ愛コンサートin愛媛	松山市民会館	音楽演奏
11/24(月)	たくま防災フェスタ2025	三豊文化会館 マリンウェーブ	車両展示
11/30(日)	しこちゅー消防防災フェスティバル	消防防災センター	車両展示
12/13(土)	黒潮シーサイドコンサート	黒潮町ふるさと 総合センター	音楽演奏

※ 急遽変更となる場合がございます。ご了承ください。





HP



X



Facebook

14りよだん 検索



第14旅団では、HP・X・Facebookにおいて活動状況を発信しています。
また、HPにおいては第14旅団の紹介やイベント情報などを掲載しております。